

第 1 回委員会における主な指摘事項について

＜委員会の進め方に関する指摘事項等＞

- ①海外と日本の費用便益分析の考え方や内容について整理が必要。
⇒海外諸国の事業評価手法について概略整理（資料 2）。
- ②実態の値と代理変数の値、平均値と類型別の値、これらに係る一般的原則の整理が必要。
⇒最新の知見や実務上の観点から、本委員会において適切な考え方を議論

＜費用便益分析マニュアルに関する指摘事項等＞

- ①道路、鉄道、航空など交通系で統合的に費用便益分析を行うべき
- ②公的資金の限界費用をどう考えるか
- ③人件費などの間接費をどのように入れていくか
- ④B/Cの計算は、1日単位で行っているが、通勤混雑が発生しているところでは、時間単位で計算するとより精確な値となる可能性がある。

＜その他の事業評価手法全般に関する指摘事項等＞

- ①道路は極めて多機能で波及効果も大きい。数値、B/Cのみで評価しようとするのは時代遅れではないか。
- ②評価を踏まえた意思決定のガバナンスのあり方が課題ではないか。